

ふくしま 電友会だより



第 4 2 号

平成 27 年 8 月 1 日

福島地区電友会事務局

Tel・Fax 024-531-7421



■ 新年度にあたって

会長 齊藤 政夫

毎日暑い日が続いておりますが、会員の皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。4月の定期総会において前任の山口会長からバトンタッチを受けて会長に選任いただきました。微力ではありますが、会員の皆様のご協力とご指導をいただきつつ、精一杯努めてまいりますのでどうぞ宜しくお願い致します。



さて、平成27年度の活動計画は、「心豊かに・健やかに・ますます輝く毎日」を基本方針としてスタートしましたが、早くも4カ月が経過しました。

4月の総会で会員の皆様から承認を得ました活動計画に沿って、6月18日に地域担当幹事及び全役員により、具体的なアクションプランを審議、策定となりましたので、日程的に若干遅くはなりましたが、この日が今年度活動の実質的なスタート日となりました。今年度の活動の重点施策は

- ①会員の心豊かな生活と生き甲斐の支援の実施
- ②NTT 及び NTT グループ諸施策への協力と連携強化
- ③防災意識の醸成

の「3本柱」としております。

1、会員の心豊かな生活と生き甲斐の支援の実施
“全員参画型による活動の活性化”をめざして

- (1) 新規会員拡大の取り組みについて
会員の減少は全国的な課題となっておりまして会員数は毎年4%～5%減少しております。

今年度はこの減少傾向に歯止めを掛けるべく、東北地方本部の統一施策として、新規に会員になられた方に、「2,000円のクオカード」を進呈することになりましたが、更に支部で作成の入会勧奨冊子及び地区の独自施策であります、新規会員獲得者へのインセンティブ贈呈等の施策をトータル的に活用して、全会員の皆様のご協力による人海戦術を展開して、一人でも多くの会員増に結び付けていければと考えております。

- (2) 会員同士が支え合う施策の充実について

現在、地域担当幹事の皆さんにお願いして会報誌等の配布時には出来る限り直接会員の皆様に手渡し、面談による「ふれ合い」を大切にされた取組を実施しておりますが、今年度は一歩前進して、会員の皆さんの了承を得つつ、会員の皆さんの現況把握に努め、更に会員同士が支え合う施策の充実に取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご協力の程宜しくお願い致します。

- (3) 電友会主催の諸行事等への参加者の増加対策について

電友会主催の総会・観桜会、新年会及び

電電記念日を祝う会等の各種行事への参加者が年々減少化と固定化の傾向にありますので、役員、地域担当幹事はもとより、全会員の皆様のご協力をいただきつつ、友人、知人への参加呼び掛け等の一声運動を展開して、参加者の減少に歯止めを掛けることが出来ればと考えております。

(4)「私の足跡」の提出率向上について

会員の皆様の「私の足跡」の提出については、毎年重点施策として取り組んできましたが依然として、提出率が65%程度と低迷しております。今年度は、退職後の地域活動状況等を記載する欄を設ける等の記載し易い様式に見直しをすると共に、地域担当幹事を含めた役員全体の重点事項として取り組んでいきたいと考えておりますので、ご協力をいただければ幸いです。

(5)サークル活動の更なる活性化について

当電友会のサークル活動は、会員の心豊かな生活と生き甲斐の支援及び会員相互の親睦による活動の活性化を目的として、今年4月に新規スタートした「カラオケ」サークル及び電友吾妻会主催の「里山トレッキング」サークルを含めて、7サークルに約150名の会員が参加(一部の会員は複数のサークルに入会)して、活発な活動を進めております。

日々の生活の中で「行くところがある・会う人がいる・することがある」少しでも目的のある行動を起こすことによって、自然体で心豊かな生き甲斐のある生活を送るための「すべ」が醸成されるのではないかと考えております。役員一同、会員の皆様の一人でも多くのサークル活動への新規入会の申し込みをお待ちしておりますので宜しくお願い致します。

2. NTT及びNTTグループ諸施策への協力と連携強化

“NTTにとって役立つ電友会活動”

(1) 情報提供活動の更なる取り組み強化について

電友会の活動については、NTTから多大なご配慮とご支援をいただいておりますことに感謝しつつ、毎年、会員一人一件以上の

販売情報及び設備情報の提供として取り組んでおりますが、結果的に情報の提供件数は低調に終わっております。特に不良設備の情報提供は東北の他県と比較しても低調な状況にあることから、今年度は所外設備の知識を有している線路系の会員の皆様に特にご協力をいただきたいと考えております、宜しくお願いいたします。

(2) その他の協力、連携活動について

NTTCSR活動(環境クリーン活動)については、毎年12月にチームNTTとして、市街地の清掃活動に参加しておりますが、今年も参加すべく、活動日が近くなりましたら、市街地等の近くにお住いの比較的年齢の若い会員の方に電話等により参加呼び掛けを致しますのでご協力方宜しくお願いいたします。

以上、本年度の活動のポイントの一部を述べましたが、本年度は「和・輪・ゆとり」をイメージした行動により、会員一人ひとりの生き甲斐のある生活の一助となる活動を目指して、全力で取り組んでまいります。

■ お世話になりました

前会長 山口 嵩

今になってみると、あっという間の14年間でしたが、皆さまの支えにより支部事務局を務めさせていただきました。改めて、感謝と御礼を申し上げます。



顧みると、先輩諸氏の築いた道を歩み続けただけでしたが、情報通信社会の急変にともなうNTTの経営形態の相次ぐ見直しの波は、電友会にも少なからず影響を及ぼしています。特に、会員拡大面で顕著に現れ始めました。退職1～3年以内の同僚・知人への「個々の一声」が最強の維持・拡大施策と考えています。

NTTへの寄与面では、「テレホンカード・端末

機器」の販売から「フレッツ光回線」の情報提供と推移してきましたが、現在は重点販売対象を個人から法人へと大幅に軸足を移し、「小売業」から通信会社等への「卸業」に大きく舵を切りました。

アナログ時代のOB・OGにとっては隔世の感がありますが、不良設備情報の提供やNTT福島グループの行うCSR活動等とおし地域の窓口として貢献出来る余地は十分に残されていると思います。

これからは、電友会の目的の一つである“集うことが楽しい、生涯学習の場”をベースに、サークル活動やボランティア活動を中心に、歩み続けたいと思っております。

最後になりましたが、皆さまの益々のご健勝と各地区電友会およびNTT・NTTグループの更なるご発展を祈念し退任のあいさつといたします

■ 着任のご挨拶

NTT東日本福島支店

支店長 山内 功

福島地区電友会の皆様におかれましては、日頃より弊社事業に多大なるご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。



私は7月1日に福島支店長として着任いたしました。前職では情報通信技術 (ICT) に関連した各種調査・研究やコンサルティングなどを行っている(株)情報通信総合研究所というグループ会社に出向しており、それ以前はNTTの持株会社に勤務していましたので、NTT東日本で勤務するのは7年振りとなります。

出身は郡山市で、そこで中学の途中まで過ごしました。NTT入社後は、東北管内では青森県の十和田市、宮城県の仙台市と石巻市、山形市で勤務しましたが、なかなか福島県で勤務する機会がなく、今回、生まれ故郷の福島県で仕事をさ

せていただけることは大変ありがたく、やりがいと責任の重さを強く感じています。

私が今後仕事をしていく上で特に意識して取り組んでいきたいと考えているのは、多様な場面でICTを活用していただけるよう、環境の整備やサービス・商品の提供を積極的に行っていくことです。

県内では、原発に伴う長期的な帰還困難や風評被害といった大きな課題がある中、震災からの本格的な復興に向けて様々な取り組みが展開されていますが、ICTを最大限に有効活用していただくことによって、復興のスピードを加速させることができたらと考えています。

また、各自治体様では、人口減少と高齢化が進む中でいかにして地域の活力を高めていくか、いわゆる地方創生の戦略が検討されています。新たな仕事を作り安心して働くことができる環境の構築、地方への新しい人の流れを生み出す仕組みの構築、時代の流れに応じた新たな地域作りや地域間連携の強化など、ここでもICTが貢献できる分野・領域はたくさんあるものと考えています。

このほか、県民のみなさまの生活を一層便利で豊かにすることや、情報ネットワークやシステムの高度化等による各企業様の業績の向上、災害への備えや地球環境問題への対応など、ICTがお役に立てる場面は数多くあるものと認識しています。

こうした観点から、一つひとつの取り組みを着実に推進しつつ、これまで諸先輩の努力により築き上げてきた「安心・安全・信頼」というNTTグループのブランド力に更に磨きを掛けて、福島県の発展に向けて精一杯取り組んで参る所存ですので、貴会の引き続きのお力添えをよろしくお願い申し上げます。

最後に、貴会の今後益々のご発展、並びに会員の皆様のご健康とご活躍を祈念申し上げまして、着任の挨拶とさせていただきます。



■長寿者の近況(順不同)

(敬称省略)

◇米寿の方々

國井 昭三

この度は米寿のお祝いに記念品を頂戴し、誠に有り難う御座いました。72歳で間質性肺炎を患い、在宅酸素療養者になりましたので今日まで生きていられるとは想像できませんでした。



電友会の皆様には、この様な醜い姿でお目に掛かる度に激励の言葉を頂き、気力を取り戻して参りました。今後ともよろしく願いいたします。

最後になりましたが、電友会の益々のご発展と皆様のご健康を祈念しまして、お礼といたします。

齋藤 英一

米寿の御祝い有難う御座居ました。昭和18年から61年まで43年間、戦中戦後の混乱、激動、復興、技術の変遷、等を体験し、特に20年3月10日の東京大空襲に深川で死の寸前を体験。



退職後は、地域活動に努力、ゲートボール・老人会の振興に努め、去年役職を退任して、昭和30年以來の無事故無違反の運転免許を返上し、愛車も廃車にしました。

その反動からか、体調を若干くずしました。現在まで維持している健康寿命を頑張りたいと思っておりますが、笑いを忘れずに努力しましょう。皆様によろしく。それにしても米寿を迎えられたことに驚いているのが本音であります。

栗原 信幸

米寿のお祝いありがとうございました。

ディサービスセンターに趣味の写真を数枚展示させて頂き、いくらかでも入所者の心を慰めていると思っております。



昨年、転倒して両手両足が不自由となり、手術してようやく退院。現在、ディサービスセンターで週2日リハビリに励んでおり、早くスムーズに歩けるようにと努力しております。

また月1回のOBクラブの囲碁大会には、できるかぎり出席しております。

渡部 幸雄

米寿のお祝いありがとうございます。

還暦以来、毎年開いている小学校の同級会も、今年は米寿祝いで28回目を数えます。

下手の横好きで、グラウンドゴルフ、パークゴルフ、カラオケ、麻雀等々と毎日駆け回っております。ボケ防止に300～500人参加の県大会の組み合わせ、集計などにエクセルを使って担当しています。



須藤 勝夫

この度は、米寿の御祝い品を頂戴しまして、誠にありがとうございました。お陰さまで、夫婦ともども元気に暮らしております。



中野 禮二郎

電友会の皆様、大変お世話になっております。

先般開催されました地区総会には、眼科の予約日と重なり出席できず、申し訳ございませんでした。

後日、役員の方がお祝いを届けていただきありがとうございました。

長寿祝いを戴く齡を忘れて春先はキヌサヤ、ジャガイモ、キュウリ、ナスと家庭菜園で楽しんでいきます。



丹治 義勝

この度の米寿のお祝いは、好みのコーヒークップに引き換えて毎日欠かさず愛用させていただいております。ありがとうございました。



日頃は、家事一切のほか、畑、庭木、盆栽の手入れ、絵描き、老人会やお寺の世話役などで暇なく動き回っております。大変だなーと思いつつも、終わった後の爽やかさに引かされて当分はこのペースを維持していきたいと思っております。

電友会のご発展を心からお祈りします。

◇喜寿の方々

伊藤 重

この度は、喜寿のお祝いに記念品を頂戴し、感謝申し上げます。

生まれつき丈夫でなかった私ですが、両親、家族に支えられ、この年令まで元気でいられたことに、考え深いものがあります。



退職後は、体調管理に努め、働いていた時は小休止していた射撃にのめり込んだり、県の海外研修に応募して、ドイツ・オーストリアに15日間、チェコとベルギーにはそれぞれ3週間ほど行ったことが良き思い出です。

現在は、民生委員・児童委員として地域の方々とのおふれあいを大切に、20年間微力ながら活動しています。

電友会の今後益々のご発展をお祈り致します。

斎藤 源一

この度は喜寿のお祝いを頂き、ありがとうございます。

昭和38年に電電採用、平成6年にNTT退職でしたが福島県を始め宮城、秋田、岩手での勤務も経験し、何れも良き仲間を支えられ、大過なく過ごすことが出来ました。



平成16年に妻に先立たれましたが、地域の各種団体のお手伝いをさせて戴き、緊張感を維持できたようです。しかし、物忘れが多くなり、迷惑をかける前に辞退することも必要でしょう。来年12月の民生委員の改選期が一つの節目でしょうか。

とまれ、早朝の30分のウォーキング、仲間との健康体操(セラバンド体操)は無理せず続けたいと思っております。

お互い、この夏も熱中症に十分注意し、乗り切りたいものです。

東城 為男

この度は喜寿のお祝いを頂き、ありがとうございます。

人生日暮れ時、喜寿の受賞年齢も体力の衰えをカバーすべく週2回筋トレ、一日一万歩を目標に日々精進し、朝は交通指導員として、又伊達市ゲートボール協会長として地域貢献に努め、時にはOBの方々とパークゴルフ、グラントゴルフを楽しみ、頭を垂らさず背筋を伸ばし健康志向にチャレンジ中！！



■平成27年度地域担当幹事会議開催

今年度事実上の電友会活動のスタートになる、地域担当幹事会議が6月18日に「ラコパふくしま」(労金ビル)会議室で開催されました。

斎藤政夫新会長は挨拶の中で、①新規会員勧奨ツールとして入会会員へのクオカード進呈
②会員同士が集いあうサークル活動の活性化
③会員の近況を把握し会員同士が支え合う仕組みづくり、を実践していくことを話しました。

今年のNTT講演は、ドコモCS東北福島支店渡辺守康法人営業担当部長を講師にお招きし「ドコモの取組みについて」説明を頂きました。説明の中で今話題の、スマホとインターネットをまとめた「ドコモ光」パックについて、料金はドコモの契約期間・契約形態により個人区々のため直接、ドコモショップに伺って相談してほしいとのことでした。

昼食をはさみ、午後にはテルウエル東日本福島支店山口友視担当課長から「電報事業」の紹介があり、押し花電報は授産施設で作成しており、売り上げの一部をそれら施設へ援助していること、また、最近の豊富な台紙について説明がありました。また、従来電話帳に掲載されていた「電報例文」が今年度配布の「タウンページ」に掲載されていないが？との質問に対し、NTTからの要望で掲載を削除したので、必要であれば最寄りの電報配達所に申し出てほしいとの回答がありました。

その後議事に入り、高橋徹事務局次長及び、斉藤隆常任幹事から27年度の主たる事業計画の概要・役員の役割分担・地域担当幹事の役割について説明があり、今年度地域幹事の重点取組みとして ①会報等配達時の会員近況の把握 ②受持ち会員へ訃報の完全伝達を行う、ことを確認しました。

議事終了後、長年に亘り地域幹事として活動され今年度退任する、伊藤守さん、桑原博夫さんの2氏に対し記念品が贈呈されました。(2氏とも都合により欠席でした。)

最後に、高橋敬一事務局長から次の連絡事項があり終了しました。

1. 電友会員を対象にしたNTT株の相談会開催について
 - ・開催日時及び場所等については別途連絡
2. サークル助成金額の変更について
 - ・従来のサークル会員数割から、1人当たり700円へ変更
(1サークル限度額30,000円)
3. 事務局事務室移転について
 - ・7月以降現事務室の隣へ移転することが決定。
(現在の約2倍強の広さになります。)



会議模様



渡辺法人営業担当部長講演模様

■ 新会員の自己紹介

(敬称省略)

須藤 盛夫

昭和42年に信夫山の福島統制無線中継所に採用され、MEを最後に47年間勤務して、昨年3月に退職しました。

電友会には今年から仲間入りしました。

下手の横好きでカラオケサークルに入っていますが、騒音に近い声で皆様にはご迷惑をお掛けしています。

日常的には、毎朝の散歩や、あちこちに出かけて珍しい物は無いかと、「一人なんでも鑑定団」で探し回って楽しんでいます。



椎名 広幸

昭和54年に電電公社に入社。本年3月にNTT東日本を退職し、4月よりテルウェル福島支店で勤務しています。



勤続36年の後半17年間は単身生活を行い、食生活等の不摂生から体調を壊し、約8年前から大好きだったお酒を止め、週末は10～20キロのウォーキングとヘルシークッキングで家族サービスに励んでいます。

また、自称“鉄っちゃん”でもあり、SLの本やDVD観賞、電車でGoをしては悦に入っています。

福島電友会の皆様、よろしくご指導をお願い致します。

佐藤 峰雄

採用(昭和46年)は、原発で有名になってしまった磐城富岡電報電話局です。八戸、仙台の県外勤務を経験し、福島IPセンタで6月30日に退職しました。



当面の目標は、85Kgの体重を70Kgに減量し肥満体を解消することです。

これから電友会の皆様と交流が図られることを楽しみにしております。よろしくお願いいたします。

◆この他に「升澤 俊司」さんにも入会していただきました。

■ 新役員の方々の自己紹介 (50音順)

本年4月の総会で新たに役員になられた方々の自己紹介です。事務局同様よろしくお願いいたします。

阿部 忠

盛夏の候、電友会会員の皆様におかれましてはご健勝でお過ごしのこととお慶び申し上げます。



この度、幹事に就任しましたテルウェル出身の「阿部 忠」です。

電友会の仕事は初めてですが、皆様のご指導とご協力を賜りながら、電友会の発展のため頑張りますので、よろしくお願いいたします。

また、電友会の皆様には現職時代には大変お世話になり、本当にありがとうございました。テルウェル退職者も電友会に入会できるようになり、ゴルフやパークゴルフ等を皆様と一緒に楽しんでおります。

荒木 省一

今回、役員をやることになりました荒木です。



現在は、まだ仕事をやっていますが、近いうちに退職の予定です。退職したら、やり残していた山陰・四国地方を登山しながらの旅行と、うまいもの食べ歩きを計画しています。

それが終わったら、40年前に行ったスイスやフランスなどを訪ねてみようかなとスピードラーニングで英語を特訓中です。しかし60歳を過ぎた脳ミンにはなかなか染み込んでいかず、悪戦苦闘をしております。

なんだかんだで、電友会の活動にも迷惑をかけるかもしれませんが、精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

伊藤 重

電友会の会員になり、多くの方々にお世話になってから21年目になりました。



今までは、役員の方々からのキメ細やかな連絡・通知等により、第二の人生のひとときを楽しく過ごして参りました。感謝しております。

今回、幹事として電友会の事業の一部を担当することとなりました。微力ながら、知恵を絞り、多くの方々に賛同していただけるようなプランが出来ればと思っております。

ご協力の程、よろしくお願いいたします。

太田 岩夫

今年度、役員に選任いただきました太田岩夫です。

不慣れなためご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、皆様からのご指導・ご協力を頂きながら努めていきたいと思っております。

退職後、10年過ぎましたが、現在電報配達業務でお世話になっております。年齢を重ねる度に体力や思考力が低下するのは仕方がないとしても、低下の速度を少しでも遅くしようと頑張っているところです。好きなゴルフで体を動かし、車の運転で反射神経を維持し、そして、今回電友会の仕事で昔を思い出しながら、気持ち若さを保っていきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。



渡辺 正春

今年5月から役員として活動することになりました渡辺正春です。

現在、ITサークル悠々クラブに入って電友会福島支部のホームページのリニューアル、パソコン教室等、諸先輩の方々と楽しくやっています。

自分の健康のため、今後も多くの仲間と和気藹々いろんな活動を行っていかれたらと思っています。

総会、記念日を祝う会等で多くのみなさまと元氣でお会いできることを楽しみにしています。

これからは自分の判断で多くの人と交流を深めることができます。

黄金の人生を謳歌するため、今こそ行動をおこし自分を変えていきましょう。



■「OB余技作品展」の開催中止

電友会・吾妻会・退職者の会の共催事業として開催してきました「OB余技作品展」については、過日の実行委員会において協議した結果、今年度は諸般の事情から「開催中止」にすることとし、次年度に実施することとなりました。

どうぞご了承願ひます。

◎ 事務局だより ◎

◇「会員近況把握」協力のお願ひ

会員の近況が事務局に伝わりにくいため御見舞いなどの贈呈にも支障をきたしております。

このため、今回、地域担当幹事が中心となって会員皆様の近況をお聞きすることにしました。

つきましては、今回の会報誌等の訪問配布時に地域担当幹事の方から口頭で「近況(健康状態)、同居の人数」等についてお尋ねすることになりますので、差し支えのない範囲でご協力願ひます。

◇「私の足跡」提出のお願ひ

福島地区独自の取組として、万が一の場合に備えて「私の足跡」を提出していただく活動を展開してきておりますが、現在の提出状況は「70%」の提出率になっております。

まだ提出していない方や追加情報のある方は、是非、この機会に提出にご協力下さい。

なお、様式は福島支部のHPから取り出すこともできますが、ご連絡いただければ用紙を送付いたします。また、所定の様式以外でも結構です。

◇「会費納入」促進のお願ひ

今年度の会費納入状況は、7月末現在で「86%」の納入率となっております。

会費は電友会活動を支える大切な財源となりますので、まだ納入されていない方は、早めの納入にご協力願ひます。

なお、納付書を紛失した場合は、火曜日・木曜日であれば事務室に、直接お持ちいただいても結構です。また、再発行もいたしますので事務局までご連絡をお願ひします。

■ ご冥福をお祈りします

○ 斎藤 悦男 様

(平成27年 3月11日ご逝去)

○ 菅野 三七 様

(平成27年 4月29日ご逝去)